

# TOUCH 通信

第12号

## 特定非営利活動法人 自閉症くらし応援舎 TOUCH

TOUCHは、自閉症や発達に障がいのある方とその家族の方が地域で幸せに暮らせるお手伝いをしたいと福岡市東区箱崎で活動しています。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

自閉症支援に興味のある学生さんやボランティアさんも大歓迎です。

自閉症とは…先天性の脳の障害です。【社会性】【コミュニケーション能力】【想像力】に障害があります。時と場合に適した行動・人との共感や協調・臨機応変に！などは、自閉症の人には困難です。

### TOUCHとは…タッチの活動をご紹介します

- 本人支援…PLT【発達検査と評価・個別療育指導教室・個別相談】  
スマイルポッケ【地域活動支援センターとして、特性に応じた支援通所施設】
- 家族支援…各種相談  
学習会・懇談会・相談会  
きょうだい児サークルとの連携【すてっぷ】
- 人材育成…実習及び研修生の受け入れ
- その他…啓発活動
- 正会員…年会費4,000円【情報交換・ピアカウンセリングが目的のMLがございます】
- 賛助会員…年会費：個人2,000円【何口でも可】、団体10,000円【何口でも可】  
【ご希望の方にはメールにて情報配信サービスがございます】

相談(初回相談は無料)・通所の利用料はホームページに掲載中です。  
詳細・ご予約は、お電話にてお問い合わせください。

### 地域活動支援センター スマイルポッケ

平成22年4月より、地域活動支援センターとして新たな一歩を踏み出しました。福岡市からの助成金を受けることができるようになりましたので、利用者の負担が、これまでよりもずっと軽くなりました(50,000円/月 3,000円/月施設設備費)。土曜日は余暇活動を、スケジュールや手順書など分かり易く提示し行っています。実習生(高等部)受け入れ、体験通所も随時行っております。

#### 利用者募集中!

問い合わせ先 TEL/FAX 092 - 632 - 8150

E-mail npotouch@ybb.ne.jp

### 学習会・懇談会

平成13年にTOUCHを設立して以来、毎月1回の学習会を実施。ここ2年は、会場をTOUCH事務所3階に移し、一般の方も参加できる学習会&懇談会を行ってきましたが、今年4月から、地域活動支援センターとして卒業後の活動の場である「スマイルポッケ」の運営が始まり、3階も作業場として利用することになったため、現在、学習会は中断しています。

今後は、別会場で学習会を開催したいと思っております。

日時・内容は決まり次第HPへ掲載いたします。またはお電話でお問い合わせください。

2010年 秋号

2010年 9月 7日発行

#### 目次

TOUCHとは…	P 1
PLTだより	P 2 ~ 3
スマイルポッケの毎日	P 4
スマイルポッケの製品	P 5
ご存知ですか	P 5
TOUCHが新しい活動の場所に	P 6
書籍紹介	P 7
ご近所 散策	P 8

#### 発行元

特定非営利活動法人  
自閉症くらし応援舎  
TOUCH 広報部  
福岡市東区箱崎1-19-9  
優箱崎ビル1F2号  
Tel & Fax(092)632-8150

#### HP

<http://www.npotouch.jp/>  
E-mail  
npotouch@ybb.ne.jp

#### 地域活動支援センター スマイルポッケ



## PLT教室だより



今回は、PLT教室に通われている高等部二年生のお子さんをもつお母様に「思春期」をテーマに書いていただきました。思春期におけるお子さんの状態は様々です。これから思春期を迎える方々にとって、一つの参考になるのではと思います。

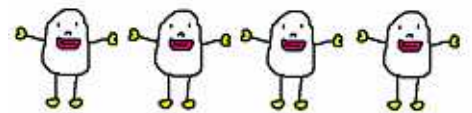
我が家のYは今支援学校 高等部二年生、少しは会話のできる自閉症です。

小さい頃は寝起きが悪くなかなか泣き止まない、公園では遊べずひたすら道の端っこを歩き続けて帰りはタクシーとか、おむつトレーニングも進まなくて少し変、育てにくいながらも普通の幼稚園に入園させました。児童相談所の個別指導では発達遅れと言われました。幼稚園では集団の力でおむつもすぐにとれましたが言葉はおむ返しばかりでした。年少の3学期に転勤でK市からF市に行き、そこで自閉症と診断されました。幼稚園の時は週一で集団の訓練に通い、小学校は特学を選び一年はF市、二年から五年の一学期まではK市、五年の二学期からは現在の福岡市です。

いつもにこにこYちゃん幼稚園も小学校も良き先生にめぐり合い、今でもお付き合いが続いているほどです。今考えれば問題行動は次々と形を変え現れては消えていきました。一番心配したのは福岡に来てからの脱走(3-4回)でしたが担任の手厚い対応で次第に落ち着いていき、それと同時に小さい子が怖くなってYがおとなしくなり急に人を叩いたりすることも無くなったので、逆に私は安心して一緒に出かけられるようになりました。

小学校最後の運動会ではようやく得意の逃げ足を生かし、リレーで速く走ってくれた時は感激しました。交流学級の子達も尊敬の目で見てくれたんです。

中学の判定はコミュニケーションがとれないとのことで養護でしたが、私達の思いも多々あり近くの中学の特学に進みました。人数が少ない学校で生徒達が皆優しく接してくれました。特学の先輩は三年生が五人しか居なかったのですが、色々お世話してもらいとても楽しそうでした。朝の挨拶運動も参加するようになり早く登校して頑張っていました。担任と先輩に勧められ陸上部でも頑張り、帰宅時間は夜7時を過ぎてましたが、更に小学校の校庭で自転車に乗ったりしてパワフルでした。



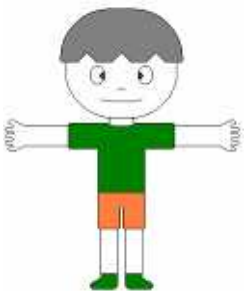
二年生になり同級生とたった二人の状況になりましたが、部活も続け博多の森にデビューし中体連にも参加させてもらいました。担任と三人で、修学旅行で京都に行って母校にも立ち寄ってきました。

三年になり一年生が三人入ってきた頃から顔つきが少し険しくなりました。同級生は物静かな子だったので、後輩は皆お喋りで何かしんどくなったようです。

その頃から毎日部活や掃除の時間に誰かを蹴ったり、叩いたりが始まりました。更に登校した直後や授業中にカッとなって、教室・昇降口・トイレのガラスを割ったり、机を蹴ったり、椅子を窓から落としたりして押さえる先生達につばを吐いたりして、さっきまでとは全然違う人格かのような行動をとったのです。6月には学校から呼び出され他の子達が危ないからしばらく学校を休むか母親が学校で一日中様子を見守るかの決断を迫られ、学校が大好きなYを体調も悪くないのに休ませるのは無理、できないと思い私が一日見ますと返事し、翌日から学校に行きましたが、突然怒って暴れたりするのは私が居ても止められないほどでした。

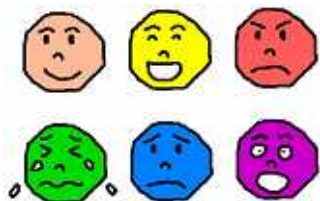
そのことを職員会議で話し合ってください、教員だけで対応しますということになりました。

しかし、Yの突然の行動は止まらず、やがて家でも始まるようになり、両親だけで止めるのも大変危険なので7月には精神科で薬を処方してもらうことになりました。始めは抗うつ剤と安定剤を夕食後と就寝前に飲んだのですが、安定というよりもすごい眠気に襲われるようで寝る前に怒ることは無くなりましたがかわいそうなくらいすぐに眠ってしまいました。そして朝も起きられなくなり無理矢理起こしてキレられても怖いので腫れ物にさわるようにしていたら朝は10時半に起き11時半頃登校みたいなペースになってしまいました。



学校での怒りがおさえきれず、帰りのバスで暴れた事もあり、私の車で送迎しました。学校の授業も本来の科目ではなく、Yが好きなパズル、アイロンビーズ、ドッツで過ごすことになり、もちろん5人ではなく1人の時間が増えました。パーティーも作ってもらい、カームダウンする場所を設置してもらいました。

プールが始まったことで楽しみは増えたのですが、帰る直前にガラスを割って手を怪我し最後の一週間入れなくなったり残念なこともありました。中体連も包帯をして参加しました。そのまま夏休みに入りましたが休日にはお出掛けをしていたヘルパーさんも蹴ったりしたので、一切やめて出掛けるのは私と人通りが少ない道を散歩、パンを買うのも他に人が居ない時など極力人を避けて外出しました。家の中でも何かをし忘れたというささいな事で机を蹴ったりしたことがあったので起きている間は常に怖かったです。



否定形を使わない、とか心配事には全て大丈夫という言葉がけをして対処していきました。起こった出来事は全てタッチの先生に報告していたので家族だけで考えこまず乗り越えていけた気がします。夏休みの様子を見て支援校に転校しましょうという話も出ましたが、中一、中二が楽しそうだったので、出来れば皆と卒業させてやりたいとの思いが強く私は踏み切れずにいました。

二学期になり朝起きられるように就寝前の薬はやめました。登校時間は変わらずまだまだ危険行為が減らなかったので私も支援校への転校を考え始めました。

しかし、薬も抗うつ剤をかんしゃく止めの薬にかえたところ、4週間経った頃、発疹が出たり嘔吐し何も食べられなくなったので、薬を一切止め一週間学校を休みました。かんしゃく止めの薬を止め、少し食べられるようになってからは、学校に行く表情が少し明るくなりました。登校する時間はたいして変わりませんが表情が違う分私も楽になり、A学校での問題も少しずつ減っていき私はこの学校を卒業させてやりたいと強く思うようになりました。その頃から少しずつクラスの体制も戻していき一緒に授業を受けたりできるようになっていきました。

今振り返りますと、状態が悪くなってから、発達センターに相談したら、「この子はおうむ返しをしてから必ず答えようとしますよね、答えなければいけないと思う真面目な性格なのですよ。何もかも一生懸命やりすぎて、しんどくなっているようです。」と言われ、私達は初めて気付かされました。

確かに、YはNoが言えなくて頑張りすぎていたんです。Noが言える練習、気持ちが出せるように、選択ができるように、タッチや学校でも取り組んでもらいました。

ささいな失敗で暗くなってしまう、物にあたるというのが増えた時には「大丈夫だよと声かけして下さい」とタッチの先生にもこと細かくアドバイスして頂き、何とか頑張りながら三学期も過ごす事ができ、高校入試や卒業式等時間厳守の日には明るい表情で早起きもできるようになりました。心配していた卒業式も全部参加でき、無事に終える事ができました。三学期中にはフラッシュバックも起こり、時々ガラスをたたいた家で机を蹴ったりもありましたが、春休みは穏やかに過ごし、もちろん支援校の先生には前もって今までの状況をお伝えしておきました。

支援校高等部への入学、登校は本人の一番大好きなスクールバスをお願いし、生活スタイルは一変、4月からは7時前に起きて8時にはバスに乗りに行くという事ができるようになりました。毎朝大好きなランニングもありすぐに馴染んでいったようで安心しました。ただ初めて作業が二週間続いた時には後半に中学時代の険しい表情が一瞬戻りましたが、楽しい事も入れてもらい見事に乗り越えました。

高等部一年生の時には水泳記録会でリレーにも出て下さいと頼まれ、わからないなりに楽しく協力して泳ぎました。運動会では足の速さで一躍有名になり、博多の森の大会にも出場し、メダルを獲得出来ました。今年は千葉の全国大会に出場が決まっています。

今は又大丈夫？と思うくらい土曜日に絵画や元担任との創作ダンス、ランニングの練習、FEAの体験活動など、どれもYの意思で楽しく参加しています。趣味のボーリングも小さい子とレーンを離すなど気をつかいながら、家族やヘルパーさんと楽しんでいます。

今思えば、話す内容は幼児に近いので、ついつい私達はいつまでも赤ちゃん扱いしてしまいましたが、時には年相応の扱いをしなければいけないと感じています。

今からの私達の課題は、大人として見守りながら、親の方がそろそろ子離れの練習をしていくことだと思います。



(療育担当者より) Y君は周りの動きや言葉にとっても過敏で、周りで起こる言動を全て自分への指示のように受け止めてしまう傾向にあったように思います。自分で考え、判断し、行動するというよりも、周りの動きや日常のパターンやルーティンでの行動が優先され、変化に対応することがとても困難なように感じられました。発達センターの先生が言われていたように、生真面目な性格からそれらの情報の多くを受け入れ、答えようとがんばり続けた結果、思春期にさしかかったと同時に爆発してしまいました。今では随分穏やかに過ごされ、拒否の表現、自分で判断する力など上手になってきています(それでも配慮は必要です)。この経験から学ぶことがたくさんありました。どんなに小さなサインも見逃さず、早期に対応していくこと、そして、自ら適切に相手に伝わる拒否ができるよう、回避ができるよう身につけさせていくことが重要だと感じました。思春期は、だれしも通る道ですが、その時の対処だけでなく、それまでの過程も大事であることを深く考えさせられました。



## スマイルポッケの毎日

### 【先輩VS実習生】

スマイルポッケが地域活動支援センターになり、作業場の構造化も少し変えその雰囲気慣れてきた6月に、高等部の実習生が来られました。また、少し作業場の構造化をやり直し休憩室も変えました。久しぶりの新しい利用者さんです。在籍されていた方の反応は…。

新しい方が気になるけど、すぐには態度に出さず、そっと部屋をのぞきこむ。相手の水筒をそっとすみに押しつける。ささやかだけれども、「先輩」の存在をアピールしているようでした。あっという間の1週間が過ぎ、実習生がいなくなった部屋をそっとのぞきこんで、実習の終了を確認するかのような姿もまた見られました。

### 【避難訓練】



箱崎公民館



箱崎公民館へ、てくてく。

散歩ではありません。避難訓練です。今回は災害時の避難場所である箱崎公民館を確認しに行きました。

地震や大雨などスマイルポッケが利用できなくなり、他との連絡をとる場合、箱崎公民館を利用します。それで、一度場所を確認し建物を見に行くことになりました。箱崎公民館はまだ新しく、中もぴかぴかでした。

今回のような目的で利用することがないように願うばかりですが、箱崎の町を歩くのもまた楽しかったです。公民館の近くには昔懐かしいポンプの井戸もあり早速動かす利用者さんもいました。



### 【土曜日のスマイルポッケ】

土曜日はいつもとちょっと違います。余暇をメインに活動を行なっています。

今までボウリングをしたり、まき寿司やピザも作りました。

写真を使った手順書で説明すると話に集中できるようでいつも真剣です。

作る時は和気あいあいと楽しくやっています。

メインの活動の後は、ゲームをするのですが、今「エアホッケー」にはまっています。

職員も立場を忘れてやっていますが、絶対に勝てないのです。

何とか利用者さんに勝ちたいと必死です。

そんなところがまた楽しさを感じてもらえているのかもしれない。



かわいいエアホッケー対戦中



## ベテラン「新人職員」から

スマイルポッケに来て

今年の2月からスマイルポッケにお世話になっています。

それまでも20年以上知的障がい者に関わってきました。もちろんその中には自閉症の方もたくさんいました。

私がスマイルポッケに来て驚いたことは、静かなこと。人数だけの問題ではありません。利用されている方のことを考えてスタッフも落ち着いた声で話す。私には別の世界のように見えました。今までの経験から言えば、普通に(声の大きさを気にせず)話していたし、特定の音が気になる人への配慮はあったものの今思えば十分な配慮とまではいえなかったものでした。他にもTEACCHを取り入れることで自閉症の方が落ち着いて生活を送れることなど…。

いまさらながら自分の勉強不足に唖然としました。

改めて自閉症について講座を受け、本も読みましたが、自分が20年の経験の上にあぐらをかいていたようで焦りました。

今、一からやり直しているところです。それにしても、随分自閉症に対する考え方が変わったことに驚きます。

変わったというよりもわかってきたことが増えたといったほうが正しいかもしれません。

まだまだ未熟ではありますが、今後も色々吸収してまだまだ成長していきたいと考えています。

そして、スマイルポッケを是非利用したいといただく方が増えるように頑張っていきます。

今後もよろしくお願いします。



## スマイルポッケの製品



ポチ袋 3枚入 ¥100



メッセージカード(大) 7枚入 ¥100  
メッセージカード(小) 10枚入 ¥100



和紙封筒 3枚入 ¥130  
" のし付 3枚入 ¥150



ローズソルト 80g ¥100



レターセット ¥150  
便箋 8枚 封筒 4枚



ポストカード 2枚入 ¥100



一筆せん 15枚入 ¥100



プリザーブドフラワー ¥1500  
6.5×6.5のケース入

### \*\*\* 嬉しいお便り \*\*\*

家族でどんぐり村へ行った際、そちらで作っているという可愛い絵はがきを購入させて頂きました。いろいろあったので迷ったのですが、象や栗やピエロなどが描かれている葉書のセットにしました。「AYA」と書かれてありました。この方が描かれたのでしょうか。帰宅し、さっそくよく目につく場所に飾らせて頂いています。元気を与えてくれる大切な物なので、郵送用ではなく、手元に置いておくことにしました。この絵を見ていると温かく穏やかな気持ちになります。今日はとても良い日になりました。ありがとうございました。これからも、個性あふれる素敵な作品を作り続けて多くの人に元気を与えて下さい。(福岡市早良区在住)

### = 販売場所 =

- ・ときめきショップありがた屋 ・どんぐり村
- ・ふくふくプラザ売店 ・銘菓堂(管崎宮そば)
- ・カットメーク春(宗像市) ・TOUCH事務所
- ・南区保健所 販売予定

## ご存知ですか・・・福岡市の事業を紹介します

ときめきウェブ  
福岡

<http://tokimekiweb.com/>



ときめきウェブは、市内の福祉事業所で作られた商品や活動の様子を紹介しています。

商品の種類別、事業所(地区)別にアクセスができます。施設のブログを読んだり、ネットショッピング(ときめきショップの商品)も楽しめます。

各施設のHPともリンクしています。

ときめきショップ  
ありがた屋

福岡市中央区渡辺通2丁目6番1号  
西鉄薬院駅ビル1階  
TEL/FAX 092-717-1177  
営業時間 10時から20時  
店休日 年末年始



楽しいディスプレイ



イートインコーナー



ニコニコ  
頑張っています!

障がい者施設や小規模作業所で作られた小物・雑貨、お菓子類やフレッシュジュースを販売しています。

販売を通じて、障がい者への理解を促進し、障がい者の自立と社会参加を目的としています。

店内で販売するジュースやお菓子などのイートインコーナーもあり、季節感あふれるディスプレイに囲まれて、ショッピングが楽しめます。

いつもニコニコ笑顔の元気ショップです。

(運営団体 : 社会福祉法人 明日へ向かって)

## TOUCHが新しい活動の場に

### 「一石二鳥」

わいわいクラブ代表 黒木 慶子

私たちのグループ「わいわいクラブ」は、現在13組の親子の集まりです。大人のメンバー全てが仕事を持っていて、その職種はさまざま。子どものメンバーも0歳～高校生までと、幅広い年齢の親子の集まりです。それぞれメンバーの共通点は、子どもたちの通っていた保育園がいっしょだったということもありますが、大人のメンバーそれぞれが、家庭もあり仕事もしながら、時間をつくって自分自身も学んでいきたい、何かをやっていききたいと思っていて、そういう学びの場があればいいなと思っていたようです。そして、そういう場を自分たちでつくっていききたい、子育てや仕事の他に、自分の何かを見つけるために仲間と活動していききたいという思いが通じ合って、少しずつ集まってきたというのが、わいわいクラブ発足のきっかけです。

現在の活動内容は、親子のワークショップや、大人だけ、子どもだけのワークショップ、そして親の学習会、情報交換会を月1回のペースで行っています。そんな中、活動するにあたっての悩みがありました。それは、活動場所です。



活動日程は、なるべく13家庭が参加できるような日程を組むので、日時はまちまち。そのために、今まで、活動場所を探すのに苦労が絶えませんでした。大人のメンバーすべてが仕事をしているため、活動日程は、ほとんど、週末の土曜か日曜日。地域の行事が多い週末に場所をとろうとしても、不定期では同じ場所をとることは難しく、みんなが楽しみにしているクッキング活動をする場においては、なかなか日程と場所の折り合いがつかず、断念することもありました。そんな経験から、子どもたちのためにも私たちのためにも、なるべく決まった場所で落ち着いてやりたいというのが願いでした。

私たちの条件にあう場所が早々あるはずがないとあきらめていた時、思いがけないことが起こったのです。今年の2月、たまたまタッチに立ち寄ったときに「わいわいクラブ」の居場所の話をする、「日曜日なら、作業所は活動していないから、どうぞ使ってください」という言葉が返って来たではありませんか！それも、でっかいオープンもある調理台もある、話し合いのできる場所もある。そんな私たちにぴったりの場所を貸してくれるなんて！！

早速、その話をメンバーのみんなに話すと、「すごい！よかった～！」という喜びの声と同時に「作業所ってなに？」「自閉症って？」という疑問符を持った声があがってきました。そのときに、「そうだ、いいチャンスだ！わいわいクラブの子どもたちにも大人たちにも、場所を共有することを通して、障がいということや個性ということについて考えるいい機会だ！！」と思いつきました。

まだ、タッチとのつながり活動は始まったばかり。「わいわいクラブ」のメンバーの心がどう成長するかは、ゆっくり活動する中で少しずつ見えてくると思います。その成長をタッチのメンバーとわいわいクラブのメンバーがさまざまなカタチで共有できていけばいいなと思っています。

### = こういう形も交流なんだね！ =

黒木さんとお話しているうちに、「TOUCHのスマイルポッケに、オープンがあるのよ！」ということになり、それから、わいわいクラブの話をお聞きしました。箱崎という同じ地域で活動されている方々のお役に立てばと、場所の提供をさせていただくことになりました。

初めは、親子で利用していただければ、「TOUCHとしても社会貢献できるかな」という思いでした。

今まで学習会や講演会で、自閉症などの障がいの啓発活動をしてきましたが、黒木さんもおっしゃっているように、「わいわいクラブ」でTOUCHの障がいの特性を考えた場の設定やスケジュール、作業のジグ(作業を補助する道具)などを自然に目にする事で「これなんだろう？ どうしてこんなにしているんだろう？ どんな人達がここで活動しているのかな？」と考えてもらえること、また聞かれてその場で説明することで「あっそうか！」「わかんない！」…と思ってもらうことは、直接自閉症(障がい)の方と関らなくても違った形の交流だなと思いました。

ポチ袋を作る時のジグ



スケジュール、担当支援者など見て分かるよう提示





## ご近所 散策



### 柴田徳商店

福岡市東区馬出2丁目22 - 22  
 TEL 092 - 651 - 0470  
 FAX 092 - 631 - 0222  
 営業時間 10:00 ~ 18:00  
 定休日 不定期

博多曲物は、筥崎宮の神具として古くから奉納されてきました。杉や桧の薄い板材を湯につけて曲げ、板の端をサクラの皮でとじ合わせて作られ、木目の美しさと、長く使っても壊れにくい実用性を兼ね備えています。

江戸時代の貝原益軒の「筑前国続風土記(ちくぜんのかくにしょくふどき)」に登場することから300年以上の歴史を持つといわれています。

福岡市無形文化財保持者である柴田徳五郎さんは、博多筥崎曲物匠として、飯びつや弁当箱などの生活用品や茶道具など「すべて手作業」で作っていらっしゃいます。

築180年の店舗の天井には太い張りが見え歴史を感じます。



店舗での柴田徳五郎さん

幼児のお喰い初めから、七五三などに子供の成長を願って用いる膳(通称・ぼっぼ膳。男児用、女児用がある)は白木の面に泥絵の具で松、竹、梅、鶴、亀が描かれており、民芸品としても喜ばれています。



ぼっぼ膳

助成、寄付を頂きました皆様、賛助会員の皆様、  
 ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

2010年2月22日～8月31日

(順不同・敬称略)

#### 助成・寄付

福岡市NPO活動推進補助金  
 原口良一

トヨタ自動車九州(株)

ジャスコ香椎浜店(イオン幸せの黄色いレシート)

#### 賛助会員

団体 社会福祉法人 明日へ向かって  
 個人

里見哲夫	神戸邦男	東間一喜	小池ユキ子	小沢明
今井美和	山本美智子	土肥弘義	井門正彦	時任義治
時任義裕	時任キヨ	青柳典夫	副島雅子	岡本幹子
清水あい子	小泉博	小泉文代	秋田園枝	前山直子
小山淳旨	斉藤稔晃	船越勝子	吉田ひとみ	大藤文字
古賀光江	秋根亜希子	大森裕一	大西睦子	大河原順次郎
尾辻智子	鮫島哲也	鮫島文字	猿川明子	日下部真理子
三浦初音	中牟田香子	樋田勝	秋山貴代美	大久保麗子
鮫島哲郎	鮫島一美			



毎月11日のイオン・デーに、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXが設置され、レジ精算時に受け取った黄色いレシートを

応援したい団体の投函BOXへ入れれば、レシートの購入金額合計の1%がその団体に寄贈されます。



投函BOX



TOUCHは、ジャスコ香椎浜店の登録団体です

皆様の温かいお志は、TOUCHの活動で大切にさせていただきます。 ゆうちよ振替口座01790-0-117757

**編集後記**・政権交代がなされましたが、自立支援法、発達障害者支援法などの法の行方がどうなっていくか、はっきり見えてきません。また、自然環境も、気候の変化や体温調節の苦手な自閉症の方には、今年のような猛暑は、辛い毎日です。微力ですが、少しでもお役に立てるよう、良い支援を目指し活動していきます。